

研究の発展段階に応じた研究開発資金制度

検討用資料

研究者の自由な
 発想に基づく研究

21世紀COEプログラム
 (文科省) 382億円 世界的研究教育拠点の形成のための重点的支援

萌芽段階からの研究

世界最高水準の科学

知的・文化的価値

新分野の創成・世界最高水準を目指す

大規模研究については、研究者の発意を基に、国としても判断を行い推進
 成長期の研究 発展期の研究

- ・大学附置研究所等の整備や特殊大型設備を要する大規模研究の推進に基盤的経費の果たす役割は大きい
- ・基盤的経費により大学に整備された研究基盤を活用しながら行う成長期・発展期の研究は科学研究費補助金等によって支えられている

Science
 Innovation

第1フェーズ

特定の政策目的に
 基づく基礎研究

第2フェーズ

出口志向の研究開発
 (シーズと出口を結びつける不連続なフェーズ)

第3フェーズ

出口志向の研究開発
 (より出口が明確なフェーズ)

政府研究開発の流れ

大学への
 基盤的経費
 科学研究費
 補助金
 (ピアレビュー)
 1880億円

多様性の確保

各省競争的資金(ピアレビュー)
 2410億円

- ・戦略的創造研究推進事業(JST) 476億円
- ・科学技術振興調整費(文科省) 395億円
- ・厚生労働科学研究費補助金(厚労省) 382億円
- ・民間基盤技術研究促進制度(総務省) 103億円
- ・産業技術研究助成事業(NEDO) 62億円

第2フェーズに
 おける制度

- ・先端計測分析技術・機器開発(JST) 40億円(*)
- ・ナノテクノロジー・材料を中心とした融合新興分野研究開発研究領域設定型(文科省) 7億円(*)

- ・情報収集衛星に係る経費(内閣官房) 624億円
- ・次世代バックボーンに関する研究開発(総務省) 20億円
- ・高度道路交通システム(ITS)等に関する研究(国交省) 82億円
- ・鉄道技術開発費補助金(国交省) 12億円
- ・畜産・作物対応研究[農林水産技術研究強化費](農水省) 23億円

研究開発プロジェクト(経産省)
 約1900億円
 ナショナル・プロジェクト型
 委託事業(NEDO)

フォーカス21
 事業(経産省)
 443億円

基礎的段階から第2フェーズを明確に狙う制度

ナノテクノロジー・材料を中心とした融合新興分野研究開発研究領域設定型(文科省) 8億円(*)

戦略的研究拠点育成
 [科学技術振興調整費](文科省)
 125億円(*)

拠点形成型

重要課題解決型研究等の推進
 [科学技術振興調整費](文科省)
 85億円(*)

公的研究機関への運営費交付金等
 (先端研究的活動)

(ミッション達成的活動)

多様な選択肢

選択と集中

連続的なイノベーション創出
 持続的な競争力の確保

シーズから出口へ

研究開発の死の谷

出口からシーズへ

事業化の死の谷

事業化の流れ

大学

公的研究機関

大学・公的研究機関の研究開発成果の活用と育成

産学官共同研究の効果的な推進(マッチングファンド)
 [科学技術振興調整費](文科省) 40億円(*)

大学発事業創出実用化研究
 開発事業(マッチングファンド)
 (NEDO) 32億円(*)

独創的シーズ展開事業(JST)
 (旧研究成果最適移転事業・委託開発事業、
 大学発ベンチャー創出推進事業)
 97億円(*)

企業

ベンチャー企業

産業技術実用化
 開発補助事業(NEDO)
 65億円

公的VC 民間リスクマネー

ベンチャーの死の谷

企業内の研究開発

事業化(市場価値の創出)

(注)・本資料においては、主な研究開発資金制度を記載。
 ・(*)は各省競争的資金(2410億円)の内数であり再掲である。

第2フェーズの研究
 開発の強化が必要
 技術革新型公募資金制度(仮称)